

©キセキミチコ(KISEKI inck)  
©加藤千絵(CAPS)  
©山内洋枝(PROGRESS-M)

2024年6月22日 宮城県セキスイハイムアリーナを皮切りに、8月25日埼玉県さいたまスーパーアリーナまでの9か所、11公演で開催されたアリーナツアー、『JUJU 20th ANNIVERSARY ARENA TOUR 2024 「YOUR REQUEST」』で、音響を担当した株式会社ケイアイエムに、モニター キューシステム MIDAS DP48を採用いただきました。

その選択理由をケイアイエム大村氏に、このツアーの最終公演である8月25日、26日のさいたまスーパーアリーナでの使い勝手などを、同社の木下氏に伺いました。

### DP48 を選択した理由

「会社のテーマとして、既存のシステムと違うモニターキューシステムの導入というものがありませんでした。DP48以外にいくつかの候補があり、機能、金額、納期といった面で比較検討を行いました。選択したソースを子機ごとで違うチャンネルにアサインできるという必要最低限の条件をクリアしていたのとMIDASというブランドに対する信頼性、それと、ベストクォリティの対応の速さでDP48を選択しました。」と大村氏

「ミュージシャンのファーストコンタクトを見ていると、好きな人はどんどん触って使っているが、この手が苦手な人はなかなか触らないなー、という感覚を持ちました。そこで、それぞれのミュージシャンの好みを探り、それに合わせた設定をあらかじめ保存した状態で渡すことにしました。」「また、モニター卓からのミックスでは満足しないミュージシャンが必ずいます。例えば、どうしてもハイハットは左から聞こえるようにしたい。その場合、ハイハットだけ別で送り出し、モニターしてもらうのですが、その際 Digico のバスだけから信号を出し、ダイレクトアウトとミックスアウトが混ざらないようにしました。違うタイムのデジタル遅延を起こすことなく、ミュージシャンに同じタイム感を提供できたことは良かったです。」

「今後、社内で DP48 は取り合いになるでしょう。」



©キセキミチコ(KISEKI inck)  
©加藤千絵(CAPS)  
©山内洋枝(PROGRESS-M)



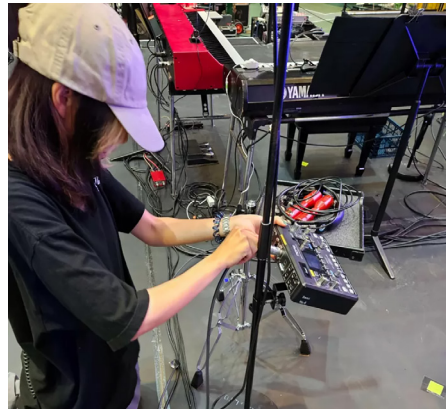
©キセキミチコ(KISEKI inck)  
©加藤千絵(CAPS)  
©山内洋枝(PROGRESS-M)



## さいたまスーパーアリーナ

さいたまスーパーアリーナでは、ストリングスで1st ヴァイオリン、2nd ヴァイオリン、ピアノ、チェロの4名。ホーンセクションでトランペット、トロンボーン、サクソの3名、バンドはドラム、ベース、ギター、ピアノ、キーボードの5名、他にサポートメンバーに2名の総勢14名のミュージシャンがDP48を使用したそうです。また、モニターミキサー横にもDP48が置かれ、状況をモニターできるようにしていたとの事。

モニターミキサーのDigico Quantum338から、信号をDN32-MADIカードが挿入されたM32CにMADIで送り、上手のドラム横と下手のストリングスの横に、それぞれ1台ずつ設置したHUB4にAES50で入力。HUB4から各DP48に接続されました。HUB4をステア上に配置することで、DP48に接続するLANケーブルの長さを揃えることができます。



ケイアイエム 木下氏



DP48



M32C



HUB4

## 特徴的な使い方はされていませんか？

「リハーサルが始まる段階でミュージシャンに説明し、リハが始まった直後は多機能なので質問されることが良くありました。ツアーが始まってからは慣れてきたからだと思うのですが質問も少なくなり自由に使っていました。基本のセットを作って渡しただけであまり苦労はなかったです。」と木下氏。

木下氏はモニターミックスエンジニアとミュージシャンとの間でステージアアを行っています。

「ミュージシャン同士がトークバック機能を使ってコミュニケーションを取っていました。キーボーディストがフルートとサクソも吹くのですが、フルートを吹くタイミングでDP48に内蔵されたリバーブをかけてより演奏しやすい環境を自分で作っていました。

また、リハの状況を録音し、マイナスワンドで練習できることを説明すると、面白いね。今度やってみようという声が聞きましたね。」「あと、M32C経由でチャンネルネーム付けと色分けができたのは助かりました。」「データをSDカードに保存してあり、次のツアーでも使用できるようにしています。来年のホールツアーでも使用する予定です。まだ使っていない機能がたくさんあるので使ってゆきたいと思います。」



M32C



HUB4



2nd ヴァイオリン用



ホーンセクション用



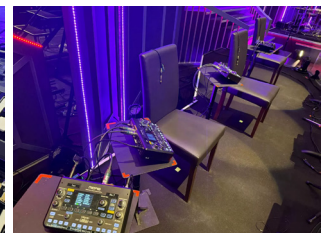
ベース用



ドラム用



キーボード用



ストリングス セクション

JUJU オフィシャルサイト : <https://www.jujunyc.net/>

株式会社ケイアイエム : <https://www.kim.tokyo/>

## DP48 とは

### ■ パーソナルモニターミキシングの再定義



Midas DP48 は、デュアル 48 チャンネル パーソナルモニターミキサーです。2人の演奏者がモニターミックスを完全に制御し、希望どおりの音を聴くことができ、リハーサルやパフォーマンスを録音および再生することもできます。シンプルで直感的なインターフェイスと、AES50 搭載のあらゆるデバイスに接続できる機能により、DP48 はスタジオやステージでの使用に最適な完全なモニタリングシステムを作成できます。

### ■ あなたのミックス、あなたのやり方



DP48 は、12 個のステレオグループを使用して、パフォーマーがモニターミックスを完全に制御し、ミックスをすばやく作成してバランスをとることができるようにします。DP48 の 48 チャンネルすべてをこの 12 個のグループ内でミックスでき、あらゆる種類のモニター セットアップに対応できます。たとえば、ボーカリストはボーカルチャンネルを

グループ 1 に配置し、ドラム、ベース、ギターチャンネルをそれぞれグループ 2、3、4 に配置できます。より細かいことにこだわるドラマーは、DP48 を使用してより複雑なミックスを作成できます。グループ 1 ~ 3 でキック、スネア、ハイハットを別々にミックスし、グループ 4 で 2 つのオーバーヘッドマイクを左右にパンします。

### ■ デュアルステレオミックス



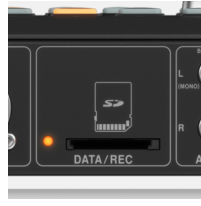
デュアルミックス機能により、2人のユーザー 1 台の DP48 に接続し、それぞれに個別のステレオグループミックスを持たせることもできます。Mix A および B 出力にはそれぞれ 3 つの専用コントロールがあり、それぞれの出力ボリューム、選択したグループレベル、割り当て可能な My Group レベルを個別に調整できます。両方のメインミックスには個別の EQ、リバーブレベル、リミッター設定があり、2人のタレントが異なるインイヤーまたはオーバーイヤーヘッドフォンを使用している場合に特に便利です。

### ■ コントロールとその他



DP48 の各グループには、1 つのノブで制御できる独自の 3 バンド EQ、コンプレッサー、リバーブが備わっています。ボタンを押して、SELECT/EDIT ノブを使用してパラメータを調整するだけです。低、中、高のパラメータは、各グループのそれぞれの周波数を増減します。コンプレッサー設定は、選択したグループのコンプレッションと、ミックス A または B のピークリミッターのスレッシュホールドを制御します。スタジオ品質のリバーブを選択したグループまたはミックスに追加して、メインコンソールから独立した個人用モニターミックスに空間的な雰囲気を加えることができます。パンボタンを使用すると、選択したグループのパノラマを調整できます。

### ■ SD レコーダーとプリセット



DP48 は、リハーサルやパフォーマンスの録音に使用する SD カードも受け入れます。録音したミックスは、Mix A または Mix B で再生できます。録音には、それぞれの My Group 信号を差し引くミックスマイナス機能があり、練習時のバックトラックとして使用できます。

完全なミキシングプリセットを SD に保存し、別の DP48 ミキサーを使用するときを読み込むこともできます。

### ■ 内蔵マイク



インイヤーモニターを装着している演奏者は、孤独感を感じることがあります。そのため、DP48 にはステレオアンビエンスマイクが内蔵されており、演奏者が周囲の音をより多く聞き取ったり、演奏者同士でコミュニケーションをとったり、さらには観客の声をより多く聞き取ったりするのに役立ちます。

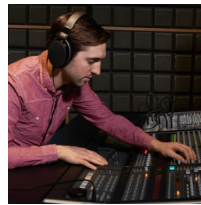
### ■ 完全な統合



すべての DP48 は、Power over Ethernet (PoE) を備えた Midas HUB4 への直接 AES50 接続を介してリモート電源供給できます。Midas デジタルコンソールや I/O ボックスを含むすべての 44.1/48 kHz AES50 デバイスは、DP48 と互換性があります。AES50 リターンチャンネルにより、DP48 からのパーソナルミックスをコンソールまたはハブに送り返して、ワイヤレス IEM トランスミッターに接続することもできます。入力チャンネルのラベル付けやカラー情報も、AES50 経由で DP48 に送信できます。Midas ハブに接続すると、DP48 をミキサーからリモートでセットアップおよび制御できます。

Midas M32 コンソールユーザーインターフェイスから直接、パーソナルミキサーチャンネルの割り当てとグループ名を完全に構成することをサポートします。DP48 は、すべてのチャンネルルーティングが構成されるデジタルコンソールサーフェスにチャンネルグループを完全に統合する初のソリューションです。

### ■ リモートコントロール



互換性のある FOH またはモニタリングコンソールからのリモート構成に加えて、どの DP48 ミキサーでも、ステージ上の 1 台または複数の他の DP48 ミキサーを完全に制御して、同時に変更を加えることができます。パフォーマーが自分のミックスに関してサポートを必要とするときはいつでも、ステージ技術者がリモートでサポートできます。リモートコントロールは、Midas HUB4 経由で渡すことも、DP48 ミキサーをデジタイズチェーン接続して渡すこともできます。

MIDAS DP48 製品ページ: <https://www.bestecaudio.com/products/dp48/>